



いわみ

議会だより

No.166

令和8年2月1日発行



今まで支えてくれてありがとう
未来へ歩みだす 私たち

12月定例会

- | | | | |
|---|------------|----|--------------------------|
| 2 | 新年のごあいさつ | 8 | 7議員が町政 ^{ただ} を質す |
| 3 | 主な議案の概要と質疑 | 16 | 「二十歳のつどい」実行委員の皆さんに聞きました。 |
| 4 | 審議結果と賛否の状況 | | |
| 6 | 行政事務調査報告 | | |



謹んで新年のお慶びを申し上げます

新年のごあいさつ

議長 橋本 恒



新年、明けましておめでとうございます。

岩美町議会を代表し、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。日頃より議会への深いご理解と、議会活動への温かいご支援、ご協力に対し、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、大阪・関西万博では国内外から多くの来場者を迎え、最新の科学技術、環境・エネルギー分野の革新、健康・医療に関する新たな知見など、多くの成果が示されました。日本が世界各国とともに未来を創る姿が発信され、本町においても県や関係市町と連携しながら観光PRを実施し、イベントステージは多くの来館者で賑わいました。

この万博は観光や経済への波及効果も大きく、地域の魅

力も評価され、地方創生にも大きくつながる動きが生まれ、更なる地域づくりの進展に大きな期待を寄せております。

また、本町では、アニメ「Free!」シリーズとの初の公式タイアップイベントが実施され、全国から3000人を超えるファンが訪れました。多くの宿泊施設や飲食店がファン向けのコラボメニューなどを提供し、町全体がお祭りムードに包まれ、町の知名度向上や観光振興が図られました。

しかしながら、明るいニュースばかりではなく、日本国内では様々な要因により物価上昇が続いております。

岩美町議会におきましても、物価高が生活に及ぼす影響を重大な課題として受け止め、行政と連携しながら様々な施策について引き続きしっかりと議論を重ね、必要な対応を進めてまいります。

また、町議会では、より議会への信頼を高め、町民の皆様との距離を近づけるため「開

かれた議会」など議会改革を推進しております。未だ道半ばではありますが、皆様のご意見をお聞きしながら、一歩ずつ着実に進めてまいります。

なお、本年は町議会議員の改選の年でもあります。

町議会は町民の皆様を代表し、町民の総意を町政へ反映させる重要な役割を担っております。町民の皆様とともに、まちの未来をより輝かしくもめ、積極的な町政ならびに町議会への参画をお願いいたします。

そして、令和8年は丙午の年にあたり、「情熱と行動で前進する年」、新しい挑戦や改革を始めるのに適した一年と言われております。

これまで鋭意取り組んできた施策に加え、新たな挑戦が町の躍進に実を結ぶことを期待するとともに、本町が将来にわたって明るい展望を切り開いていくことができよう、皆さまのご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。

結びに当たり、令和8年が皆さまにとって実りあふれる素晴らしい一年となりますことを心より祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

新議員自己紹介



岡本 浩美 議員

皆様 こんにちは。

昨年11月の岩美町議会議員補欠選挙において、無投票当選し、岩美町議会議員活動を開始しています。

私は、国内外のさまざまなところで生活をし、2023年5月に岩美町に戻ってまいりました。

海の無いところに住んでいた時は、子どもの頃に遊んだ羽尾の海を思い出し、暖かいところに住んでいた時は、雪が見たいなと感じていました。

生まれ育った自然豊かなふるさと岩美の風景が大好きです。

そんな岩美の自然を守り続けたいと思います。

素朴であり、温かい岩美の人たち、「こんにちは」と声をかけてくれる気さくな人たち、若者にも、子育て世代にも、高齢世代にも人が繋がる住みやすい町を守り続けたいと思います。

岩美町も人口減少の流れが止まりません。岩美町二十歳のつどいに参列して、岩美には、こんなにたくさん素敵な若者がいるんだと改めて感じました。

彼ら・彼女らが住み続けたい、帰ってきたい岩美を作りたいと強く思いました。また岩美を訪れるファンを増やし、一時居住から定住への流れを作りたい。

知恵を出してワクワクする岩美・賑やかな岩美の実現に向けて頑張ります。

物価高に対応 子育て世帯を応援

高校生年代まで1人2万円支給



夏まつりを楽しむ多くの子育て世帯（大岩保育所）

12月定例会

12月定例会を、12月23日から25日まで、3日間の会期で開きました。
 一般会計補正予算など、町長提出10議案のすべてを、原案どおり可決・同意しました。
 また、請願・陳情を審議（5頁参照）しました。

主な議案の概要と質疑

一般会計補正予算

5億9283万円を増額し、予算総額を89億3974万円としました。

歳出の主なもの

物価高対応子育て応援手当支給事業

3128万円
 物価高の長期化に伴い、子育てを応援するため高校生年代までの子どもを養育する保護者等に子ども1人あたり2万円支給する。

地域経済活性化・生活支援クーポン発行事業

1億1041万円
 国の「重点支援地方交付金」を財源に、物価高の影響を受ける町民生活を支援し、町内経済の活性化を図るため、町内で使用できるクーポン券を2月中旬から順次配布予定。
 券面額 1万円/人
 利用期間 8月31日まで

岩井コミュニティセンター整備事業

3億4072万円
 岩美町老人福祉センター跡地にコミュニティセンターを整備する。
 構造 木造平屋建て
 延床面積 464・40㎡
 （国庫補助 9674万円）
 （起債 2億4390万円）

質疑

問 環境省補助事業で地域材を使うとあるがどのような木材を使うのか。

答 県産材の活用を図ってほしい。

地域こどもの生活支援強化事業

208万円増額
 地域にある様々な場所を活用し、子どもたちが安心して気軽に立ち寄れる食事の提供、学習支援など、地域の支援体制を強化することを目的として補助する。

事業者 ちゃれきんぐ株式会社
 活動内容 食事提供、学習

支援、自然体験アクティビティなど
 対象者 高校生までの子どもと保護者
 （国庫補助 2/3）

質疑

問 北小学校区に2カ所目となるが、今後もエリアに関係なく申請を受けるのか。

答 小学校区ごとの設置をめぐりたいと考えているが、供給過多とならないよう対応していく。

財産の取得

10月29日の臨時会で予算計上した南小学校のスクールバス1台（45人乗）の購入にかかる契約締結。

介護保険特別会計補正予算

101万円を増額し、予算総額を15億5373万円としました。

歳出は7年度税制改正に伴い、介護保険システムの改修に伴うもの。

条例改正など

個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部改正

特別医療費助成に関する事務について、個人番号を利用することができる町の独自事務とするための条例改正。

乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の設定

特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の設定

保育所などに入所していない乳幼児（6カ月以上3歳未満）が、月10時間の枠内で保育所などを利用できる事業（こども誰でも通園制度）が、8年度から認可事業となるため、関係施設等の設備や職員配置の基準などを条例で設定。

質疑

問 子どもの育ちを応援することを目的としているが、保護者に対する説明はどのように行われるのか。

答 利用の流れは、居住地の自治体に利用者登録を行い、その後、保育所などに申込を行うことになる。

そのため、利用者登録の際に事業の趣旨を説明することになると考えている。

問 町外の乳幼児も受け入れるのか。

答 居住地による受け入れ制限はできないとされており、町外の乳幼児も受け入れる。

10月29日臨時会

一般会計補正予算

南小学校スクールバスが老朽化しているため、運行に支障がないよう、更新の経費2153万円を増額し、予算総額を83億4691万円としました。

10月臨時会の審議結果と賛否の状況

【全員一致で可決した議案】

議案	
補正	一般会計補正予算（第5号）
その他	児童センター（仮）建設工事の請負契約締結

12月定例会の審議結果と賛否の状況

【全員一致で可決、同意した議案】

議案			
補正	一般会計補正予算（第6号）	条例	個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正
	一般会計補正予算（第7号）		乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の設定
	介護保険特別会計補正予算（第2号）		特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の設定
その他	損害賠償の額の決定及び和解について	人事	教育委員会委員の任命同意
	財産の取得について		人権擁護委員候補者の推薦（諮問）

請願・陳情の審査結果

件名	結果	賛否の状況	不採択の理由等
衆議院議員の定数削減に反対する請願 提出者：平和・民主主義・豊かな暮らしをめざす鳥取県の会 代表世話人 村上 俊夫 紹介議員：田中 克美	不採択	(採 択) 田中克美 (不採択) 岡本浩美 升井祐子 森田洋子 田中伸吾 寺垣智章 宮本純一 川口耕司 柳 正敏 足立義明 澤 治樹	特定の党を批判するような請願趣旨に賛同できない。
生活保護基準引き下げ違法の最高裁判決を踏まえ速やかな対応を求める請願 提出者：鳥取県生活と健康を守る会連合会 会長 安田 共子 紹介議員：田中 克美	不採択	(採 択) 田中克美 (不採択) 岡本浩美 升井祐子 森田洋子 田中伸吾 寺垣智章 宮本純一 川口耕司 柳 正敏 足立義明 澤 治樹	国においてすでに対応中であり、趣旨には賛同できない。

討 論

<p>「年金積立金の一部活用で、物価上昇に見合う年金引上げと年金保険料引下の検討を求める意見書提出」に関する請願書 提出者：全日本年金者組合鳥取県東部支部 支部長 藤原 章 外2名 紹介議員：田中 克美</p>	不採択	<p>(採 択) (不採択)</p> <p>田中克美 岡本浩美 升井祐子 森田洋子 田中伸吾 寺垣智章 宮本純一 川口耕司 柳 正敏 足立義明 澤 治樹</p>	<p>公的年金積立金を物価高騰対策に活用することは大切であると考えますが、年金保険料の引き下げは将来世代のためにも適切ではない。</p>
<p>「こども誰でも通園制度（乳児等通園支援事業）」にかかわる陳情 提出者：自治労連鳥取県本部 執行委員長 植谷 和則</p>	継続 審査	—	—
<p>ケア労働者の大幅賃金引き上げを求める要請書 提出者：自治労連鳥取県本部 執行委員長 植谷 和則</p>	不採択	<p>(採 択) (不採択)</p> <p>田中克美 岡本浩美 升井祐子 森田洋子 田中伸吾 寺垣智章 宮本純一 川口耕司 柳 正敏 足立義明 澤 治樹</p>	<p>診療報酬や介護報酬などの公定価格について、国の改定がなされるまで自治体負担となれば財政に相当の影響が考えられる。</p>

衆議院議員の定数削減に反対する請願

(不採択)

採 択 (田中克美議員)

議員定数を含め国会や選挙のあり方は、民主主義の根幹をなすもので、議員定数を自動的に削減する法案は、議会制民主主義を否定することになる。

また、議員の数を減らして、国民の声を政治から遠ざけ、反対意見や少数意見など多様な民意を排除することになる。

不採択 (寺垣智章議員)

国会議員の定数削減は民主主義の仕組みを弱め、地方の声が届きにくくなることは承知するが、名指しで政党を批判しているような請願の趣旨には賛同できない。

不採択 (柳 正敏議員)

この請願にある政策の批判をしているが、賛成と反対にわかる大きな問題である。

この政策を全て否定されるような要旨に基づいて、請願項目を導き出すことには賛同できない。

一方の考えをもって2つの公党を批判するような要旨の請願

は取り下げるべきである。

生活保護基準引き下げ違法の最高裁判決を踏まえ速やかな対応を求める請願

(不採択)

採 択 (田中克美議員)

生活保護の訴えの原告は、2013年改定前の基準との差額を満額支給することを求めて裁判し、最高裁の判決が確定した後も、そのことを求めているが、国は、独自の試算を基に支給額を再計算し、大幅に減額している。

国の対応に対して120人を超す法学研究者からも「三権分立の原則に違反する」という声明が出されている。

また、生活保護法が定める「法律による保護を無差別平等に受けることができる」という規定に反するものである。

「年金積立金の一部活用で、物価上昇に見合う年金引上げと年金保険料引下の検討を求める意見書提出」に関する請願書

(不採択)

採 択 (田中克美議員)

年金積立金に対する将来不安という意見があるが、現在、日本の年金積立金304兆円、運用益が53兆円、この一部を活用

するだけで、年金保険料引き下げの検討はできると考える。

フランスの年金積立金の現状を調査すると、数十年前もフランスは一ケタの兆円であったが、当時日本はすでに60兆円を超えていた。

今日もフランスでは数兆円の積立金で回しており、304兆円にも達する日本の積立金で足りないことはない。

ケア労働者の大幅賃金引き上げを求める要請書

(不採択)

採 択 (田中克美議員)

現今のケア労働者の処遇改善を求めるためにも、不採択でなく少なくとも趣旨採択にすべきである。

人 事 (敬称略)

教育委員会委員の任命に同意しました。

小谷 節子 (浦富)

任期は、令和7年12月27日から4年間です。

人権擁護委員候補者の推薦に同意しました。

三浦 敏彦 (浦富)

任期は、令和8年7月1日から3年間です。

総務教育常任委員会

行政事務調査

調査先

一宮町（千葉県）

調査日

7年11月5日

調査の目的

サーフィンの施策及び防災対策の取り組みについて調査した。

概要・まとめ

数多くの世界的サーファアの輩出や、サーフィンの世界大会を実施するなど、サーフィンに対する熱意と経済力は目を見張るものがあった。

また、移住者により新市街地が形成され、多くの宿泊施設や飲食店が揃っており、それに伴う建設業、サービスマも安定しているとのこと、サーフィンで一つの経済的好循環が生まれていると感じた。

千葉県の外房地域では一宮町のみが子育て世代の移住により町の人口を維持しており、オリンピック会場のあった近くの小学校では10年で児童数が1.5倍になるなど、一宮町にとってサーフィンがサービスマ業のみに関わらず、地方創生

における非常に強いコンテンツであることが確認できた。

本町においても住民の理解を得ながら、民間主体で本気で深化して状況を変えていき、そこに行政がいかにかにフォローできるかといったことが非常に重要なポイントである。

防災対策について、発災から72時間分の生活物資をコンパクトにまとめた「G72ボックス」は地元企業の地域貢献を活用する取り組みで、低コストであり、被災地の自治体職員は被災者であるとの考えのもと、防災担当部署の負担を軽減するとともに、被災者



サーフィンの施策と防災対策を調査

に公平で均質な物資が提供できること、また、近隣自治体との協同備蓄により、自治体の備蓄数と更新時の負担の軽減につながるなど有効な取り組みであり、非常に参考となった。

調査先

長生村（千葉県）

調査日

7年11月6日

調査の目的

駅前周辺の賑わい創出と交流事業の取り組みについて調査した。

概要・まとめ

子育て支援に力を入れているが、給付金などによる人口の奪い合いではなく、令和3年に開館した交流センターを拠点に関係人口の創出を強化しているとのことであった。

また、駅前周辺の賑わい創出に向けて、村の中心部である駅周辺を核とした都市計画を進めており、現在では北口周辺の道路整備を終え、今後は交流センター側の南口の整備に取り掛かるところである。交流センターの建築にあたっては、住民アンケートをしっかりと反映させていることが印象的で、ダンスルーム

や防音室などが整備され、子育てルームでは若い母親世代が交流しているなど、まさに関係人口創出を目的とした多世代に渡り楽しめる施設となっていた。

さらに駅南側の整備が進捗すれば交流センターとのアクセスが向上し、ますます利便性が高まることで都市計画における棲み分けが明確になり、コンパクトシティとしてのまちづくりは本町も見習う点は多々ある。



駅前周辺の賑わい創出と交流事業を調査

調査の目的

地方創生の現状と課題、国の防災対策及び観光防災の取り組みについて調査した。

概要・まとめ

地方創生の取り組みにより、成果が顕著な自治体もあり、更なる活性化に向けては、全国の自治体の優良事例を参考としながら本町の特徴を活かした施策を研究する必要があると改めて感じた。

また、防災対策については防災庁設置により、防災力の向上が期待される中、本町でも、国・県の支援制度を活用しながら、地域が一体となったコミュニケーション防災教育や避難生活環境改善のための防災資機材の整備など、平時からの事前防災に取り組んでいくことが必要である。

最後に観光防災について、訪日外国人観光客数の急増により災害時や緊急時の対応、医療機関へのアクセス、地域でのコミュニケーション不足といった新たな課題が顕在化している。

本町もアプリ利用促進に加え、観光危機管理計画の整備や観光事業者向けの実践的な研修の実施など、具体的かつ実効性のある安全対策を検討する必要があると感じた。

調査先

内閣官房、内閣府、観光庁（東京都）

調査日

7年11月7日

産業福祉常任委員会

行政事務調査

「公立病院における経営努力の可能性」に焦点をあてて調査を行った。

調査先

地方独立行政法人 芦屋中央病院（福岡県）

調査日

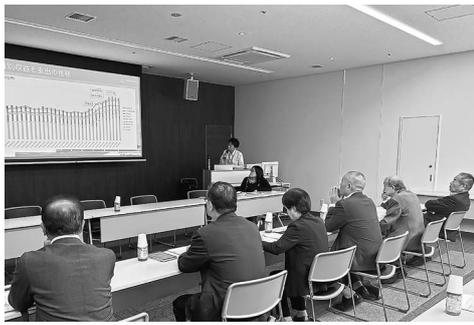
7年10月21日

調査の目的

独立行政法人による病院運営の在り方、健全経営の取り組みなどについて調査した。

概要・まとめ

芦屋中央病院は、経営悪化と、医師減少により、地方独立行政法人へ移行した。



独立行政法人の経営を学ぶ（芦屋中央病院）

独立行政法人化により、病院経営の自由度が増し、迅速な経営判断が行えるようになり、独立行政法人化と新築移転を契機に、地域包括ケアに特化した運営で黒字経営を実現している。

調査先

糸田町立緑ヶ丘病院（福岡県）

調査日

7年10月22日

調査の目的

健全経営に向けた取り組みや役割・機能の見直し、地域連携の強化などについて調査した。

概要・まとめ

現在の病院は建設から50年以上が経過しており、施設の改修や建て替えが求められていたことから、過疎債の適用を機に新病院建設に着手し整

備事業が進められている。

また、人口減少と高齢化が進む地域で、公立病院としての使命と経営の両立に挑んでおり、新病院建設と包括ケアへの転換を契機に、地域に根ざした再生の実現が今後の焦点であると感じた。

調査先

飯塚市立病院（福岡県）

調査日

7年10月22日

調査の目的

指定管理者制度を活用した運営体制、運営委託、健全経営の取り組みなどについて調査した。

概要・まとめ

旧筑豊労災病院の廃止を受け、市民の強い要望により開設された。

公益社団法人地域医療振興協会が指定管理者として運営を行い、地域の急性期医療を支える中核病院として機能している。

救急搬送や紹介患者の受け入れを積極的に進め、地域包括ケア病棟で在宅復帰支援にも力を入れている。

医師・看護師の確保を全国的なネットワークで行い、経費削減と質の高い医療提供を

両立し、確かな信頼を築いていると感じた。



飯塚市立病院の現地視察

厳しい環境下で、地域包括ケア病床への転換、研修による医師育成・確保、職員不足を業務の共有でカバーするなど経費削減・収益改善を図り、限られた資源を最大限に生かした改革を進めている。

(総括)

今回調査した病院の多くが急性期病床を削減、地域包括ケア病床の増床により病床利用率向上と収益確保を検討、実施している。

唐津市民病院きたはたはは小規模で、限られた体制の中で経営を維持している。今後、岩美病院においても医療提供範囲の線引きを明確にし、重点分野を絞った運営も検討すべきと考える。

芦屋中央病院と唐津市民病院きたはたはは、院長自らが経営に積極的に関与しており、病院運営に対する熱意を感じた。

また、緑ヶ丘病院では外部の経営アドバイザーを招聘するなど、経営改善を行っている。

岩美病院においても医療従事者も巻き込み、今までの慣習などを見直し、出来ることは何でもやるという気概で経営改善に努めていただきたい。

概要・まとめ

唐津市は人口減少と高齢化が進み、離島やへき地を多く抱えるため、病院は地域の中核医療として重要な役割を担っている。

人口減少・医師不足という

調査先

唐津市民病院きたはた（佐賀県）

調査日

7年10月23日

調査の目的

運営体制や病院の役割・機能の見直しなどについて調査した。

一般質問

7議員が^{ただ}町政を質す

一般質問は、議員が自らの調査・研究、住民の声にもとづき、町執行部の方針を質すものです。

結果として「現行の政策変更」や「新規政策を採用」させるなどの効果があります。

【質問のルール】

事前に質問要旨を通告し、議長の許可を得て質問します。

質問時間は1人30分以内（答弁の時間を除く）で、一問一答方式で何度でも質問できます。

12月定例会の一般質問（登壇順）

質問議員	ページ	質問事項（通告書のまま）	
宮本純一	9	1 有害鳥獣捕獲の取り組みについて 2 教員の働き方改革について 3 学校整備の調査研究・検討について	
柳 正敏	10	1 2期目となる長戸町政運営を問う	
川口耕司	11	1 岩美町農業の持続的発展に向けた振興策について 2 誰もが笑顔で暮らせる岩美町の実現に向けた町政運営について	
森田洋子	12	1 重点支援地方交付金の有効な活用を 2 障がいのある方の支援強化を	
升井祐子	13	1 少子化対策の問題点への対応について 2 「アンガーマネジメント」の活用について	
田中克美	14	1 町内事業所で働くケアマネジャーの確保に向けた取り組みについて 2 町の温室効果ガス排出量の削減目標について 3 日本政府に核兵器禁止条約参加を求める署名を、町として町民に呼びかけることについて	
田中伸吾	15	1 防災対策について 2 上下水道の整備について 3 保育所の環境整備について	

- ・議会だよりでは、内容を1議員1ページに要約しています。議会ホームページでは、動画をご覧いただけます。
- ・会議録は、3月頃から議会事務局や議会ホームページでご覧いただけます。

クマ被害対策に取り組み

宮本純一議員

新年度に向け新たな事業を検討したい

長戸町長



宮本純一議員

宮本 有害鳥獣捕獲個体の一時冷凍保管施設は、狩猟者の負担軽減策として整備された。

稼働状況はどうか。

杉本農林水産課長 6年12月から本年11月までのシカの搬入頭数は839頭で月平均70頭受け入れている。

捕獲従事者からは、以前より楽で便利になったとの声を聞いている。

宮本 農林水産省はスマート捕獲等加速化事業の推進に取り組んでいるが、スマート捕獲の導入に取り組まないか。

情報確認されたが、すでに児童の登校はほぼ完了していた。

保護者には、まちこみメールで対応をお願いした。

宮本 今後の備えとして、クマ出没時の対応マニュアルはあるか。

教育長 マニュアルは11月に策定した。

通学路の安全確保、保護者への連絡など、目撃情報を受けてからの初動対応の共通理解を図る内容だ。

宮本 クマが柿の実などを求めて出没している。

放任された柿の木の伐採事業に取り組まないか。



山から下りてこないで（山中に暮らすクマ）

町長 新年度に向け検討したい。

宮本 クマへの緊急銃猟が不安なく行える体制の構築を考えていかないか。

適正学級数による学校整備の検討を

宮本純一議員

3校体制を維持したい

長戸町長

宮本 文科省が示した教員の働き方改革推進の新たな指針とはどのようなものか。

教育長 6年後は全体で46人の減、学級数は南小と西小が8、北小が12学級と予測している。

教育長 業務量の負担軽減として3つの分類や19項目の代表的業務の例示がされている。

これをもとに促進を図りたい。

宮本 文科省は12学級から18学級が適正学級と示している。

適正な学級数での学校整備の検討をしないか。

町長 週の1日だけでも5時間授業の取り組みができないか、学校現場、総合教育会議で相談したい。

教育長 児童数の増減を繰り返している実情だが、この体制で教育の一層の充実に努めていきたい。

宮本 今後の各小学校児童数、学級数の予測はどうか。

町長 保護者、町民、議会のご理解がいただけるのであれば、現在の3校体制を維持したい。

町長 責任や補償を捕獲者に負わせてはならない。報酬額についても他の状況を参考に定めていきたい。

2期目となる町政運営を問う

柳 正敏議員

まちの元気を維持していきたい

長戸町長



柳 正敏議員

柳 改めて町民に向けて、第2次の長戸町政にかける思いの発信を求めます。

町長 大きな課題は人口減少で、町民1万人を割る現実を直視し、将来にわたって単独自立を存続させたい。

子どもの数が減ることは町の活力がなくなることに関わり、少子化を止めるのは困難だが、抗い続けたい。

子どもを産み育てるための環境を更に整えたい。

また、人口減少のスピードを緩め、元気な高齢者を増やし、まちの元気を維持していきたい。

柳 不登校児童・生徒への対応強化と、不登校に至らないための取り組みは急務である。

大西教育長 学校は社会において自立的に生きる基礎を養う場として役割が大きく、適切な指導が受けられるよう努めたい。

学校と児童生徒とのつながりを保ちながら、多様な学びの機会を保障し、誰一人取り残すことなく、社会的自立に向けた力を付けていきたい。

柳 将来的な社会事情を想定した、支えあいのまちづくりの取り組みをどう考えるか。

町長 高齢になっても、生きがいを持って元気に暮らせるよう、eスポーツや健康マージャンの普及を進めるとともに、災害時の共助や、孤独・

孤立の解消に向け、地域の方が役割を持ち、つながり合う地域共生社会をめざしたい。

柳 公約の大きなテーマとして掲げた産業振興に、いかに取り組むか。

町長 若者の定住と、町内企業や産業の担い手の確保に努めている。

町内企業に就職する方の奨学金返還は無償化を検討して

いる。
町内事業所の新規雇用に対する補助金は、拡充を考えた

また、地域おこし協力隊の活用などで、起業する人材の誘致や農業の担い手確保などを図っていききたい。

柳 まちづくりに向け、商工会との連携強化とともに、社会情勢を鑑みた支援の検討が必要ではないか。

町長 町と商工会が連携して創業、開業、事業継承の支援や制度融資など事業者の情報共有し、連携してさまざまな施策や課題解決に取り組んでいる。
商工会とは良好な協力関係であり、今後も維持していきたい。

また、商工会の支援は、状況を伺い研究してみたい。

柳 役場業務の遂行にあたり、職員の増員を検討すべきではないか。

町長 担当業務の仕事は変わらないが、複雑となり、また量も増えている。

職員の定員管理計画は7年度までとなっており、次期計画で人数・体制について検討したい。



まだまだ元気でがんばるぞ (高齢者健康運動会)

乾燥施設確保、機械更新の支援を

川口耕司議員

い 体制が整えば支援制度を検討した 長戸町長



川口耕司議員

川口 そばは本町の振興作物である。

農家の方は、水田活用直接支払交付金や産地交付金の対象作物として、生産している。今まで乾燥・調整を担って利用してきた町外施設が突然利用できなくなった事態をどう捉えているか。また、その後の対応はどうか。

杉本農林水産課長 町内産の玄そばの大半を買い取っていた事業者から農業再生協議会事務局に来年度以降の買い取り中止の文書が10月末に届いた。

対応は、そばの生産者に対し情報の提供、来年度に向けた聞き取りと、近隣の乾燥調整施設の視察を事務局職員で行った。

来年度の生産者による協議で、今後の方向性を定め、再生協議会で検討したい。

川口 そば生産を持続可能にするため、乾燥調整できない、買い手を失った状況を踏まえたビジョンが必要だ。

町長の見解はどうか。

町長 生産者の意向確認も終わっていない。予定されている再生協議会で、方針を決定したい。

川口 先的一般質問で、そば専用の共同乾燥施設を町内に整備することは考えていない、との答弁であった。

考えていないと判断した根拠は何か。

町長 玄そばを全量買い取り、販売ルートがある状況で、町があえて乾燥施設を持つ考えがなかったことを理解いただきたい。

川口 町独自の施設整備をしないのであれば生産者による機械の導入、共同利用などに支援すべきだ。

町長 そばを町の振興作物として、組織を作り、本格的な取り組みが見えれば、検討したい。

川口 そば生産は、町内の団体が刈り取り作業をすべて請け負うことで成立している。使用されているコンバインの老朽化が進んでいると聞いている。

高額な更新費用と農業機械の老朽化がもたらす生産リスク、作業受託体制をどのように認識しているか。

また、この体制を維持するために町はどのような関与や支援を考えているか。

町長 9年に産地交付金の対

象から外れる可能性があれば、生産を継続されるのか不透明な部分はある。そばを町の特産品として出荷も含めた生産体制ができていく動きがあれば、支援を検討したい。

その他の質問
誰もが笑顔で暮らせる若美町の実現に向けた町政運営について



コンバインによるそばの刈り取り（蒲生地内）

重点支援地方交付金の有効活用を

森田洋子議員

町内事業所で使用できるクーポン券を検討

長戸町長



森田洋子議員

森田 国は11月に総合経済対策と8年度補正予算を閣議決定した。

「8年1月から3月の電気・ガス代の支援」など町民の生活に関わる画期的な経済対策と認識している。

その中で重点支援地方交付金は、地方自治体が物価高対策に活用できる支援として有効だ。

どのような重点支援を考えているか。

町長 国は、従来の支援分として、別枠で食料品などの物価高騰に対する特別加算を新たに拡充した。

地域経済活性化・生活支援クーポン発行事業

暮らしに安心！まちに活力！

いわみ生活応援

2026クーポン

物価高騰の影響を受けている町民の皆さまの生活支援と町内消費の下支えのため、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、町内のお店(登録店舗に限ります)で利用できるクーポンを町民の皆さまに配布いたします。

使用期限 令和8年 8月31日(月)

封筒に同封されているクーポン

お一人様あたり 10,000円分

500円券 × 10枚 × 2冊

お届け!

クーポン券の配布を決定 (2月中旬より発送予定)

森田 事業者支援として地域の実情に応じた支援策は考えているか。

本町としては、生活者支援と町内の消費の下支えを目的とした町内事業所で使用できるクーポン券を検討したい。

町長 今のところ考えていないが、交付額の上限もあり、優先順位を考え検討したい。

森田 今後の物価高対策の本町独自の支援はどうか。

町長 まずは国が物価高に見合った賃金、所得向上を図られるまで、きちんとした継続支援が必要と考える。独自の支援については、町民の方の声を伺い、必要な支援は考えていきたい。

障がいのある若年層の健康診査に支援を

森田洋子議員

障がいの有無に関わらず実施体制・費用助成を検討したい

長戸町長

森田 近年の障がい者支援は、誰もが地域で自分らしく暮らすための共生社会の実現をめざす方向と大きく変化している。

障がい福祉サービスは、地域によってサービス提供体制に格差があり、支援強化すべきと考える。

障がい者手帳を掲示せず、割引やサービスを利用できるミライROIDアプリがある。

本町の公共施設など登録してもらうことで、利用者増のメリットもあると考えるが賛同し普及啓発してはどうか。

町長 障がいのある方の利便性向上、社会参加にも有効な取り組みであり賛同する。

公共施設などの登録も検討し、各団体にも情報提供したい。

森田 8年度には町議会議員選挙がある。誰もが投票しやすい環境整備が大切だ。

障がいのある方などに適切な対応するための「コミュニケーションボード」、「選挙支援カード」がある。活用してはどうか。

森田 障がいの有無に関わらず、18歳から39歳までの健康診査は、実施体制も含め費用助成を検討したい。

森田 町民の方から、若年層を対象とした健康診査の費用

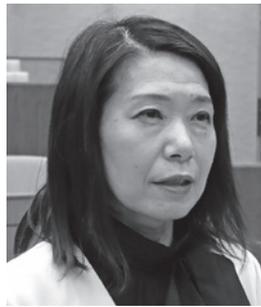
選挙管理委員会書記長 町議会議員選挙からの導入を検討したい。

国へ少子化克服の対策を求めよ

升井祐子議員

国が責任をもつて取り組むべき課題

長戸町長



升井祐子議員

升井 母になる人が減る「少母化」という現象が顕著になっているようだ。

結婚や出産を望んでいながら、経済的理由や将来不安から結婚に踏み出せない若者が増えていることが背景にあるようだ。

本町における20代30代の年収中央値を把握しているか。

日下部税務課長 6年分の年収中央値は、20代は237万1063円、30代は309万3075円となっている。

升井 若者世代の税、社会保

険料の負担が、婚姻出産の障壁になっているのではないかと。

町長 出生動向基本調査によると、男女とも適当な相手に巡りあわない、自由さや気軽さを失いたくない、まだ必要性を感じないという回答が多く、婚姻については分かりかねるといのが、正直なところ。

出産については、経済的理由の影響が推測をされる。

町として、出会いという部分に、もう少し施策を考えたかと思っています。

升井 本町の子育て支援の効果はどうか。

町長 町の総合戦略の出生数の目標値の結果では、効果はゼロではなかったと思うが、あまり得られてないように感じている。

しかし、町外から本町に新築する方へ、5年間で195件の支援をし、その内、出産世帯が31件・37人のお子様が生まれた。

英語教育の充実、子育てセンターなどの活用で、子育てするなら岩美町という具合に、出生数が減らないよう取

り組みたい。

升井 補助金などの拡充支援が、結果として現役世代への負担増に繋がるのではと懸念する。

既存事業の見直し、削減などが必要ではないか。

町長 現役世代や将来世代に過度な負担とならないよう、安定的な町政運営に努めた

い。

升井 少子化の課題は、単独自治体では限界がある。減税や社会保険料の負担を軽減し、若年層への可処分所得の増加を図るなど、少子化対策を国や県に対し要望する必要があると考えるがどうか。

町長 国民健康保険税における子どもの均等割の軽減など、国が制度を変えたり、県が新たな支援策を行うなど、更なる子育て環境の充実を図っていくことが重要だ。

国や県に対しては、要望活動を行ってきた。

若者世代の年収、収入の増に繋がる施策については、国が責任を持って取り組むべき課題だと思っている。

その他の質問
「アンガーマネジメント」の活用について



おともだち、たくさんいて楽しいなー（すくすくひろば）

ケアマネの業務軽減の取り組みを

田中克美議員

地域ケア会議で協議したい

長戸町長



田中克美議員

地域ケア会議で、負担軽減の協議を進めたい。

田中 ケアマネの本来業務に
対する、利用者の認識の啓発
にも役立つ軽減策の検討に取り
組んでほしい。

町長 本来業務を周知する
リーフレットの発行も含め
て、ケア会議で相談したい。

田中 ある町民の方が、町内
事業所のケアマネが手いっぱ
いなので、市内のケアマネを
紹介すると言われた。

全国でケアマネ不足が深刻

な現状を考えると、町
が対応しなければ、要
介護者増の将来、深刻
な事態になりかねない。
ケアマネが本来業務
に専念するため、関係
者と一緒に負担軽減策
を検討すべきだ。

町長 本来業務以外の
業務負担が、不足の一
要因であると認識して
いる。



岩井あすなる



社会福祉協議会

○町内の居宅介護支援事業所は2事業所

量は半端でないが、処遇が低
い。他の介護職より低い逆転
現象が起きている。

居宅介護支援事業所に財政
支援を検討してはどうか。

町長 単独の財政支援は考え
ていない。

国・県の支援の中で対応し
ていただきたい。

温室効果ガス削減の本気度が問わ れる

田中克美議員

国の指針を元に策定したことにご 理解を

長戸町長

田中 今後の十年間に温室効
果ガス排出を2019年度比
で6割削減できるかに、人類
の未来がかかっている。

町の削減目標は、30年度に
13年度比46%だ。

これで本気で削減する姿勢
と言えるか。3点指摘する。

①48・2%削減が見込めるの
に、46%に低めている。

②2つの追加対策は、町の意
識的な取り組みでなく、世間
の動向を基にした期待値だ。

③日本の削減目標は、自ら合
意した国際取り決め以下だ。

政府に核禁条約参加を求める署名 呼びかけを

田中克美議員

核兵器禁止の機運醸成を行う中で 案内したい

長戸町長

田中 町は2014年9月に
平和首長会議に加盟した。

加盟都市は12月1日現在、
166カ国・地域の8552
市町村、国内では1740市
町村、県内全市町村が加盟し
ている。

平和首長会議は、加盟都市
の活動例のトップに、核兵器
禁止条約の早期締結を求める
署名活動の展開をあげてい
る。

町は、本気で挑戦する削減
目標を掲げ、実行計画に反映
させることが必要ではない
か。

町長 指摘はよくわかる。
高い目標をもって、地球規
模で取り組む課題と認識して
いる。

しかし、町の計画は、国の
指針をベースに策定してお
り、指針の範囲内で町が取り
組めることを明らかにしたも
のだ。

ご理解をいただきたい。

町長 町も趣旨に賛同して参
加している。

これまで小中の平和学習、
核兵器廃絶の運動団体の活動
に協賛するなど核兵器廃絶の
取り組みをしてきた。

引き続き核兵器禁止に向け
た町民の機運醸成を行い、機
会をとらえて署名活動の案内
も行っていきたい。

住民の防災意識の向上を

田中伸吾議員

訓練を通じ身につけてほしい

長戸町長



田中伸吾議員

をしていただければという思いを持った。
今回の状況を踏まえ、防災訓練に対し住民の周知方法など改めて検討し、次年度以降の訓練にいかしたい。

田中 災害発生時には初動が大事であり、住民意識の向上

も被害を少なくすることに繋がると思っていますか。

町長 災害発生時には、行政、町民が迅速かつ的確に行動できるのか、訓練を通じ身につけてもらいたい。

毎年様々な災害訓練を想定し、震災被害、津波被害などの訓練をしている。

情報伝達では、防災無線を活用した緊急情報、避難指示などに加え、エリアメールや、聴覚障がい者の方に文字放送を発信するなど取り組んでいる。

今後の耐震化整備計画は

田中伸吾議員

年次的に耐震化を進めていく

長戸町長

田中 埼玉県八潮市において下水道管の腐食による破損が原因で、大規模な道路陥没事故が発生し大きな災害となった。

町内の管路の、耐震化の進捗率はどれくらいか。

沖島建設水道課長 下水道管

は、全て耐震管扱いとなっている。

地震時の振動による液状化が発生した場合、管路が浮上する可能性、危険性はある。

田中 下水道管は、小口径であっても道路の沈下やマンホールとの段差が生じる。点検など、どのように行っているか。

町長 道路陥没は職員のパトロールまたは町民からの通報で確認し適切な対応をしている。

田中 上水道の基幹管路と浄水施設の耐震化率はどれくらいか。

建設水道課長 管路は38・7%、浄水施設の恩志・陸上占める割合79%の耐震化率になる。

田中 今後の整備計画の耐震化についてはどうか。

町長 水道事業経営戦略に基づき年次的に耐震化を進めている。

水道管は8年度末で42%を目標、池谷浄水場が今年度完成予定で81%となる。年次的に耐震化を進めた

その他の質問
保育所の環境整備について

町長 人数的にもう少し参加

田中 主催場の南小学校では、地域住民の参加数が22名であったが、防災訓練として住民意識をどう捉えているか。

澤総務課長 町民全体で380名、関係団体8団体79名であった。

田中 2025年日本各地で多くの災害が発生した。毎年持ち回りで各小学校を主催場として、防災訓練が行われるが、今年の参加状況はどうか。



防災訓練でダンボールベット組み立て（一寸法師の館）

二十歳のつどい

実行委員の皆さんに聞きました

1月3日、「岩美町二十歳のつどい」が、二十歳を迎えた109名のうち80名の出席のもと、挙行されました。令和4年4月から成人年齢が18歳に引き下げられましたが、町では20歳の方を対象として式典を開催しています。「二十歳のつどい」実行委員の皆さんに抱負や岩美町への想いなどをお聞きました。



実行委員
米山 琴海さん
(田後地区)

20歳という節目を迎え、これから大人としての自覚、一つ一つの選択に責任を持ち成長していきたいと考えています。そして、ここまで元気に育ててくれて支えてくれた両親、家族、周りの方々への感謝の気持ちを大切にしながら少しずつ恩返しをしていきたいです。私はこの20年間、自然豊かで人のつながりも豊かなあたたかい岩美町で生まれ育ってきたことを誇りに思います。帰ってくると安心できる場所、岩美町をこれからも大切にしていきたいです。



実行委員長
吉田 翔世さん
(浦富地区)

「カッコいい漢になる!」これが成人を迎えた私の抱負です。社会に出ると何をすることもたくさんの選択肢があります。その中でこれまでの私は楽な道や簡単な道を進んでしまいがちでした。ですが、成人を迎えた私は違います。自ら険しい道を選びカッコいい漢になります。2026年は「カッコいい漢 吉田翔世」になるべく、さらにさらに精進してまいります。



実行委員
濱田 優芽さん
(浦富地区)

私は海と山に囲まれた岩美町で育ち、この町の自然や人の温かさに支えられて成長してきました。成人を迎えた今、これまで支えてくださった家族や地域の方々への感謝を忘れず、自分の選択と行動に責任を持てる大人になりたいと考えています。今後は学びを深め、外の世界で多くの経験を積みながら、人として成長していきたいです。そして将来は、育ててもらった岩美町に帰り、この町に恩返しができる存在になることを目標に一歩一歩努力していきます。



実行委員
門脇 凜空さん
(浦富地区)

成人を迎え、これまで支えてくれた家族や先生、友人への感謝の気持ちを改めて強く感じています。これからは一人の大人として、自分の言動に責任を持ち、周囲への思いやりを忘れずに行動していきたいです。失敗を恐れず挑戦し続け、社会に貢献できる人へ成長していくことを目標に、日々努力を重ねていきます。



実行委員
小橋 花音さん
(浦富地区)

高校を卒業し、20年弱育った町を出て、成人を迎えた今、岩美町という町に対して、自分の今までに対して色んな見方ができるようになりました。今まで当たり前だったことは家族や友人、地域の人々の助けがあってできていたことで、それが普通でないことに気づきました。これまで出会った人には感謝を忘れず、これから出会う人には礼儀を持ち、人として成長していきたいと考えています。社会に出ていくことに、周りから大人だとみられることに不安を感じますが、自分なりに精一杯努力していこうと思います。



議会だより調査特別委員会

委員	委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
岡本	升井	田中	川口	柳	田中	寺垣	森田
浩美	祐子	伸吾	耕司	正敏	克美	智章	洋子

岡本浩美議員が新しく入られて本特別委員会も8名の委員となりました。

令和8年、今年は60年に一度巡ってくる丙午（ひのえうま）の年です。馬が合う、すべてうまくいくと言った言葉がありますが、皆さんが幸多い一年となるようご祈念申し上げます。

また、皆さんにわかりやすく伝えることができようとする紙面づくりを努めていきます。

森田 洋子

編集後記